

2015 - 16年度 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Rotary International
国際ロータリー会長
K.R. ラビンドラン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ベテランと若手の団結で
品格あるロータリー活動を!

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立: 1973年2月23日
●会 長: 上田 郁生
●幹 事: 上山 惣太
●会報委員長: 堀内 伸也

今週のプログラム

第2083回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「我等の生業」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 第5回クラブ協議会
- ⑦ 閉会 点鐘

★3/25(金) ~ 26(土)

クラブ親睦旅行 三重県伊勢 1泊2日
石川会員、上田会員、上山会員、浦本会員
奥田会員、桑田会員、鈴木会員、高橋会員
武田会員、辻田会員、中澤会員、安田会員
山田会員、山本事務局員 参加予定

来週の予定

第2084回例会 4月1日(金)

- ★例会前: 4月度定例理事会
- ☆4月誕生月祝 品川会員、柳会員
- ☆4月結婚記念日祝
石川会員、桑田会員、森田会員
- ☆卓話「生涯健康脳」池本 繁喜会員

★4/7(木)

第88回四輪会ゴルフコンペ(ホスト:八尾RC)
於:春日台カントリークラブ
TEL:0743-69-2133
集合:8:00
高橋会員、辻田会員、山田会員 参加予定

前週の例会記録

2016年3月18日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2082回	28名	15名	60.0%	出席義務免除 4名(出1)
第2080回	28名	17名	75.0%	補 填 0名

ニコニコ箱

- 鈴木さん、卓話代行よろしくお願ひします。
上田 郁生会員
- 鈴木さん、卓話宜しくお願ひします。
大橋 秀造会員
- 池本繁喜こと鈴木洋です。卓話ピンチヒッター務めます。よろしく!
鈴木 洋会員
- 鈴木さん、卓話御苦勞様です。桑田 タア子会員
- 鈴木さん、卓話のピンチヒッターご苦勞様です。
奥田 長二会員
- 今回合計 8,000円

◎累計 593,610円

会長の時間

3月は水と衛生月間です。日本で暮らしていると水に対する問題点はほとんど意識することがないと思いますが、世界に目を向けますと問題は沢山あります。飲料水に関しては、日本では100%の人が安全な飲み物を手に入れることが普通ですが、近隣諸国でも中国、台湾、フィリピン、インドネシアなどでは人口の75%程度の人しか安全な飲み物が手に入らず、タイでは約50%と深刻な問題となっています。アフリカの一部では人口の25%程度の人しか安全な水を飲めないのが現状です。衛生面でも飲料水の不衛生や下水の不備等の水に関わる病で、年間180万人もの子どもが世界中で命を落としています。

飲料水の確保の難しい地域では、数キロメートルを数時間かけて水汲みの為に時間を費やしています。水汲みは女性や子どもの仕事になっているところが多く、この水汲みの時間がなくなれば、子どもの就学率や女性の社会進出が増えて国力アップにもつながるといわれています。

水と衛生の問題については、国連をはじめロータリーを含む様々な団体が問題に取り組んでいますが、井戸は掘っても、その後のメンテナンスに不備があるなど、思うような結果が出ていません。今後もメンテナンスを含め、時間をかけて取り組んでいかないとならない問題です。

幹事報告

- ①本日の卓話は、池本会員がお休みのため、急遽鈴木会員が代行されます。
- ②次週は例会後、親睦旅行ですので、ご参加の方はカジュアルな服装での来会で結構です。

卓話

「会員間の商業取引・ 卓話について」 鈴木 洋会員



本日は①ロータリー創立メンバー②会員間のビジネス③卓話 についてお話しします。

1. ロータリークラブ創立メンバー

1905年2月23日ポール・ハリスと3人のメンバー計4名で行った会合がロータリーの誕生です。

弁護士ポール・ハリスは数年来の友人である石炭商のシルヴェスター・シールと共に夕食をとった後、ディアボーン・ストリート127番地にあるユニティ・ビル711号室の鉱山技師ガスターヴァス・ローアの事務所へ向かっていました。そこにローアと洋服業のハイラム・ショリーが待っていて、ここで4人はかねてから話し合っていた新しいタイプのクラブ結成について、具体的な話し合いを行おうとしていました。

シルヴェスター・シール: インディアナ州の貧しい農家に育った記憶を大切に、身体障害児救済などの協会事業、慈善事業に欠かすことのできない人物でした。ドイツ人の両親をもつ天性的に親切な性格で、社会福祉とともに注目すべきは、彼が自らの事業所で従業員に強く慕われてきた人間関係、道義人としての功績でした。

ガスターヴァス・ローア: ドイツ系の移民で、個性的な人物でした。その言葉は機関銃のように速く鋭く、道行く人も耳をそばだてるほど特異なものだったようです。激しく命令的で、威圧的な態度が見られる反面、温和・従順で、親しみやすい人だったそうです。

ハイラム・ショリー: メイン州から移住してき

た彼は、何としても大都会の生活に溶け込めず、心は終始生まれ故郷から離れなかったので毎年暑中休暇を取って帰郷することを欠かさなかったようです。

ポール・ハリスとシルヴェスター・シールは特別な親友となり、二人の自宅は占用道でつながり、部屋着で行き来できました。お墓も隣にあります。

2. 会員間のビジネス

もともと「会員の事業利益の増大」を目的に創設されたロータリーは早い時期（1906年、シカゴ・クラブ内）に、相互扶助推進のための Statistician（統計係）という役員が置かれ、会員には会員間の商取引の記録用紙の提出を求め、その集計を例会毎に報告していました。

全米 RC 連合結成後は、連合会の中に；

Local Trading Committee（地域商取引委員会）
Intercity Trading Committee

（都市間商取引委員会）

National Trading Committee（全国商取引委員会）

という委員会が設置されて、委員会による商取引の奨励と管理が行われていました。即ち、ロータリアンという相互信頼を背景に、会員は自クラブ内だけではなく、近隣クラブの、あるいは遠隔地のクラブのロータリアンとの間で商取引を積極的、有効的に実践していたのです。会員間の物質的相互扶助活動がどれほど活発であったかは、当時の会員名簿の中に残されていると言われます。各クラブの名簿には会員の住所が記入されていなくて、事業所名、事業内容、所在地、電話番号が記載されていて、職業別電話帳のような形をとっていたようです。

一方、1909年にロータリーの閉鎖的商業活動をマスコミから批判されたポール・ハリスは、取引を管理する「統計係」を排除し、会員名簿と出席を管理する Registrar（記録係）によって兼務するようになりました。この10年後には、ロータリー

は“奉仕の理念”を成熟させ、やがて奉仕団体へと脱皮していく（1922年 RI への移行）のですが、そこに至る過程では、目をロータリーの外へ向け、「奉仕」概念の成熟を推し進めようとしている先進的な一部のロータリアンと、その対極に位置して、「相互扶助」活動を通じて自己の利益追求に熱心な多くのロータリアンとが、同じ団体の中に共存していたと考えられます。

3. 卓話

第3回会合で初代会長に選ばれたシルヴェスター・シールはそのとき自身の職業である石炭業界の話をしたと記録に残されていて、これがロータリーの卓話の始まりと伝えられています。

第7回例会以降、会合が食事つきになると、ロータリーが欧米の習慣である after-dinner speech=卓話を取り入れたのも、ごく自然な成り行きだったと考えられます。したがって、卓話は、ロータリー関連の話に限らず、職業や業界の話、趣味の話、時事問題など会員が広い知識を得るための手段であったのです。

1910年、全米 RC 連合会第1回大会でシェルドンが初めて語った“サービス”についてのスピーチは、まきに after-dinner・speech でしたから、時間的にも短く、内容も深入りしないものでした。これが卓話の典型で、現在の各クラブの例会では卓話の時間を30分と定めているのが一般的です。もし物事を広く、深くとらえた講演が必要な場合には、30分では短過ぎるので、特別の時間設定を求めべきでしょう。



2016～2017 年度委員会構成表

役員 (5名)

理事会 (7名から9名)

会 長	中澤 剛
会長エレクト	大松 桂右
副 会 長 兼会場監督(SAA)	山田 哲男
幹 事	高橋 広一
会 計	高岡 正和

副幹事	
-----	--

会 長	中澤 剛
会員組織委員長 (直前会長)	上田 郁生
職業奉仕委員長・会長エレクト	大松 桂右
クラブ運営委員長・会場監督・副会長	山田 哲男
幹 事	高橋 広一
会 計	高岡 正和
奉仕活動委員長	鈴木 洋
理 事	森下 慶治

IM 実行準備委員長	石川 義一
------------	-------

